



フォーサイド グループ 2021年12月期第1四半期 決算説明資料

補足説明資料



2021年12月期第1四半期 連結業績ハイライト

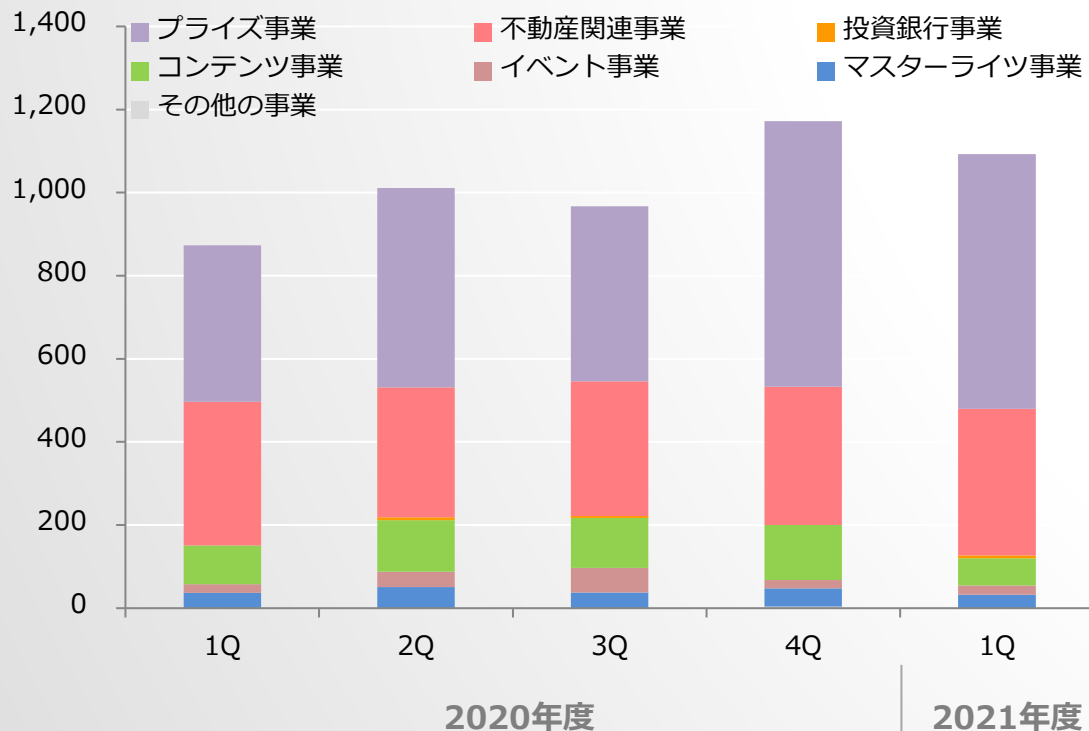
(単位：百万円)

	2020年度 第1四半期	2021年度 第1四半期	前年比	主な増減要因・傾向
営業収益	874	1,097	125.4%	2021年12月期第1四半期の営業収益は、プライズ事業が好調に推移し、その他の事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、底堅く推移いたしました。これらの結果、グループ全体の営業収益は前年比125.4%と大幅な増収となった。 利益においては、営業収益の増加に比べ、不動産関連事業における貸倒引当金繰入額が大幅に減少したこと等から、販売管理費が前年比83.5%と大幅に減少し、グループ全体の営業利益は29百万円となった。 また、新株予約権戻入益、事業譲渡益を特別利益に計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は、56百万円と大幅な増益となり、黒字化を達成。
売上総利益	389	442	113.5%	
販売管理費	495	413	83.5%	
営業利益	△105	29	—	
経常利益	△66	30	—	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△344	56	—	

プライズ事業、不動産関連事業が連結業績に大きく寄与
営業利益、四半期純利益ともに黒字化を達成

営業収益の成長推移

(単位：百万円)



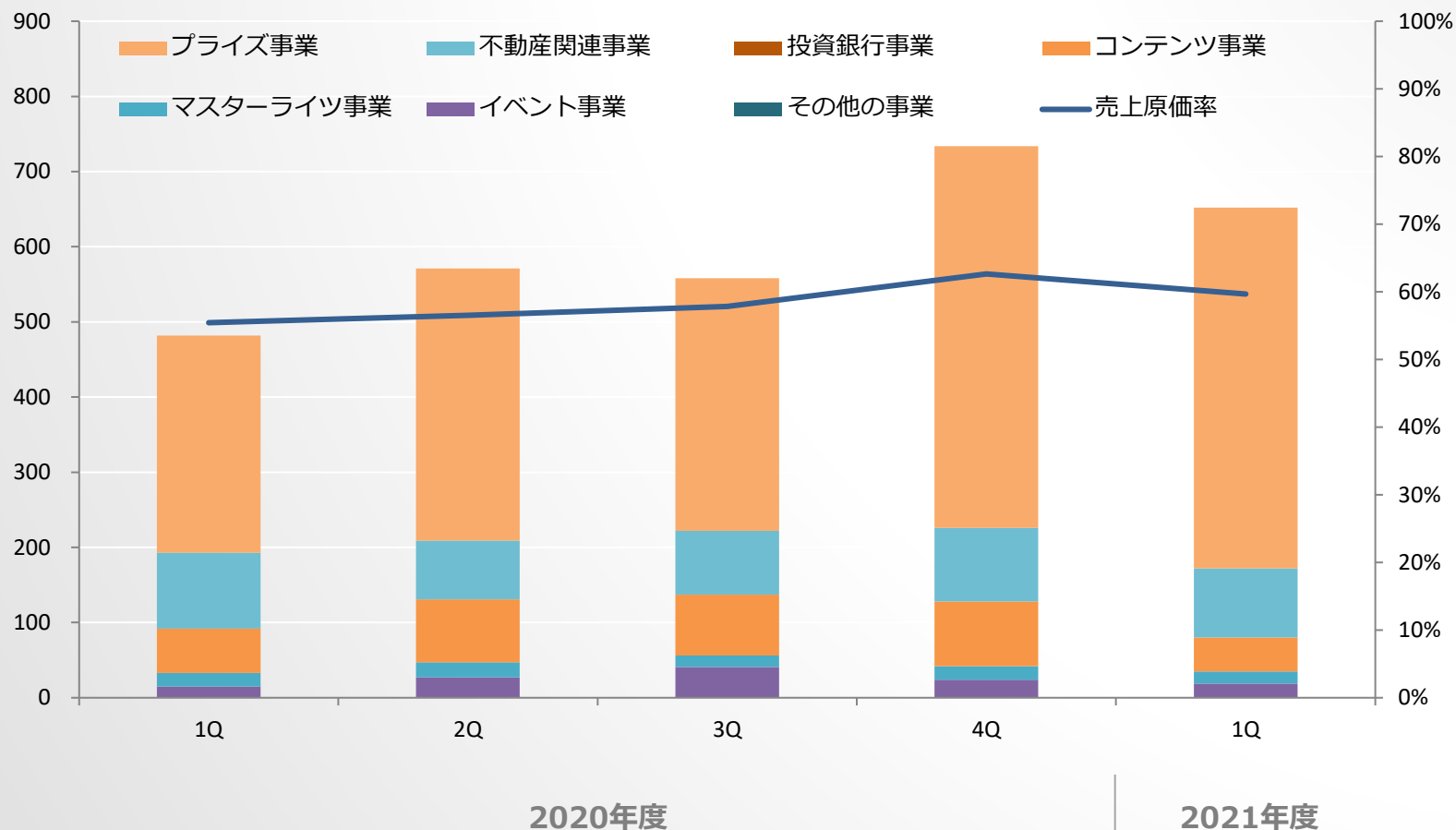
プライズ事業がグループ全体を牽引
2010年以来、
第1四半期での営業収益10億円を達成

セグメント別の主な増減要因

プライズ事業	プライズ事業では、売上高、セグメント利益ともに、前年の水準を大幅に上回って増収増益を達成。
不動産関連事業	不動産関連事業では、営業活動に一定の制約を受けたが、引き続き民法改正が追い風となり、新規契約者数は堅調に推移。加えて、保証引受時の審査を慎重に行い、管理回収部門においては公的支援制度の案内を行う等、状況に応じた顧客管理に努め、家賃滞納者の減少、回収率の向上により、貸倒引当金繰入額は大幅に減少。
投資銀行事業	投資銀行事業では、前連結会計年度から進行中の案件を中心に成約を目指すも、コロナ禍の影響により交渉が長期化する等、案件の成約件数、成約金額とも低調に推移。
コンテンツ事業	コンテンツ事業では、外出自粛等により自宅で過ごす時間が増えたことで電子書籍の需要増加が継続。映像制作事業においては、コロナ禍の影響により、案件の減少や制作コストの高止まりが続くなか、当該事業について慎重に検討をした結果、2021年1月31日付けで事業譲渡が完了し、本事業から撤退。
マスターライセンス事業	マスターライセンス事業では、引き続きオンラインでの事業展開を中心に活動を行うも、グループの解散や休止に伴い、売上高は低調に推移。出版事業においては、女子小中学生向け雑誌 Cuugal（キューガル）において、YouTubeでの活動を積極的に進め、媒体の認知向上に取り組むも、セグメント利益の確保には至らず。
イベント事業	イベント事業では、予定していたイベントの中止や延期はあったものの、感染症対策を講じた上で開催されるイベントも増加。緩やかな回復の兆しが見られたものの、セグメント利益の確保までには至らず。
その他の事業	金融事業では、延滞債権の回収に注力し、貸付金の回収に努めたことで、セグメント利益を確保。

原価の推移

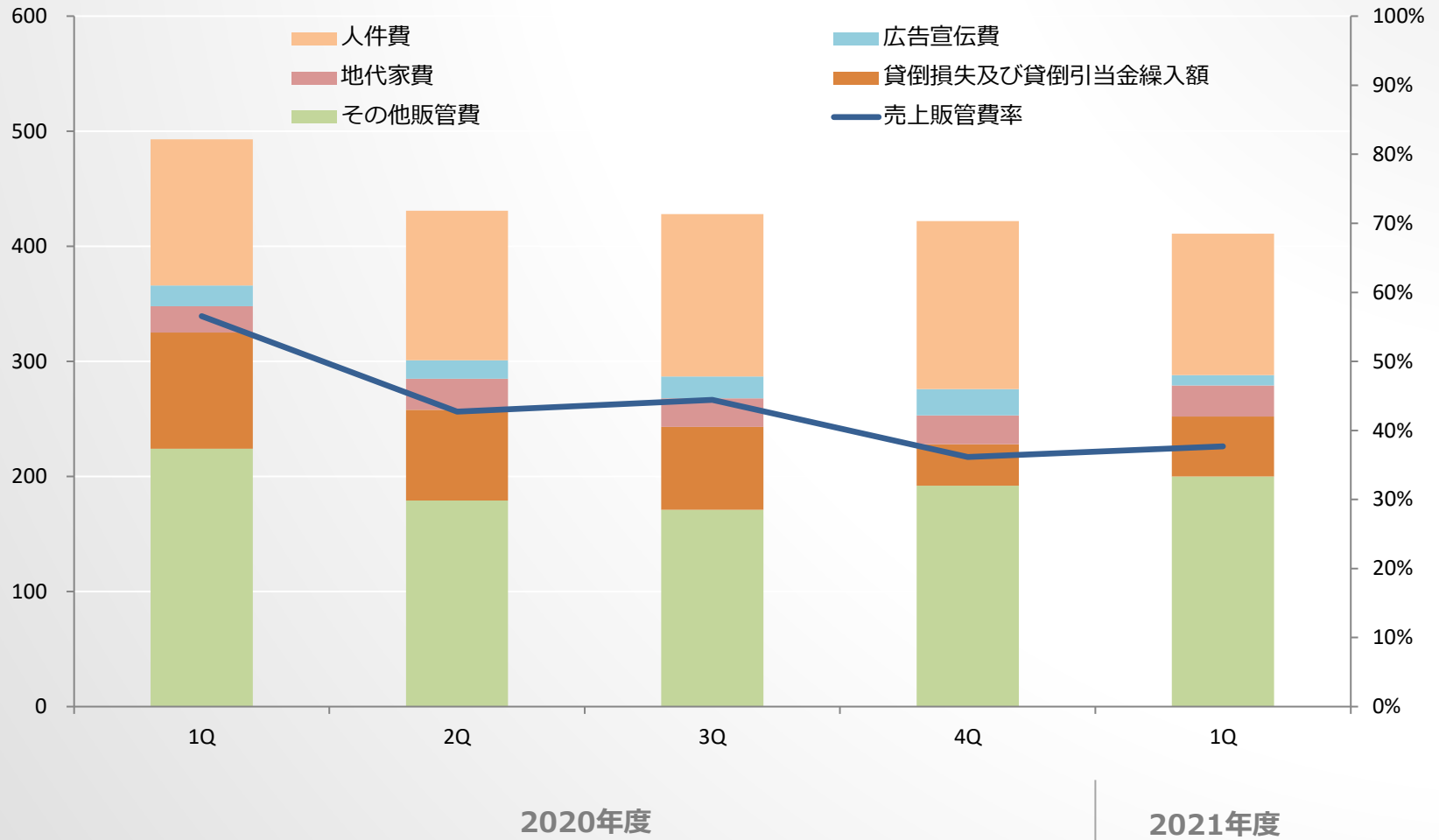
(単位：百万円)



各事業において継続的なコストコントロールを実施
映像制作事業からの撤退により、売上連動原価が減少

販売管理費の推移

(単位：百万円)



不動産関連事業における貸倒引当金繰入額が減少

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2020年度 12月期	2021年度 第1四半期	増減金額	主な増減要因・傾向
資 産	3,841	3,837	△3	資産については、代位弁済立替金が52百万円増加したものの、受取手形及び売掛金の減少50百万円及び貸倒引当金の増加45百万円等により、前連結会計年度末に比べ3百万円の減少となった。
負 債	2,746	2,706	△39	負債については、借入金の減少31百万円等により、前連結会計年度末に比べ39百万円の減少となった。
純資産	1,095	1,131	36	純資産については、新株予約権の権利行使期間満了に伴い、新株予約権が16百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益56百万円を計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ36百万円の増加となった。

(注) 2021年3月25日開催の定時株主総会の決議に基づき、2021年5月14日付けで減資の効力が発生し、資本金が1,332百万円、資本準備金が1,328百万円減少しております。

四半期純利益の計上により、純資産が増加

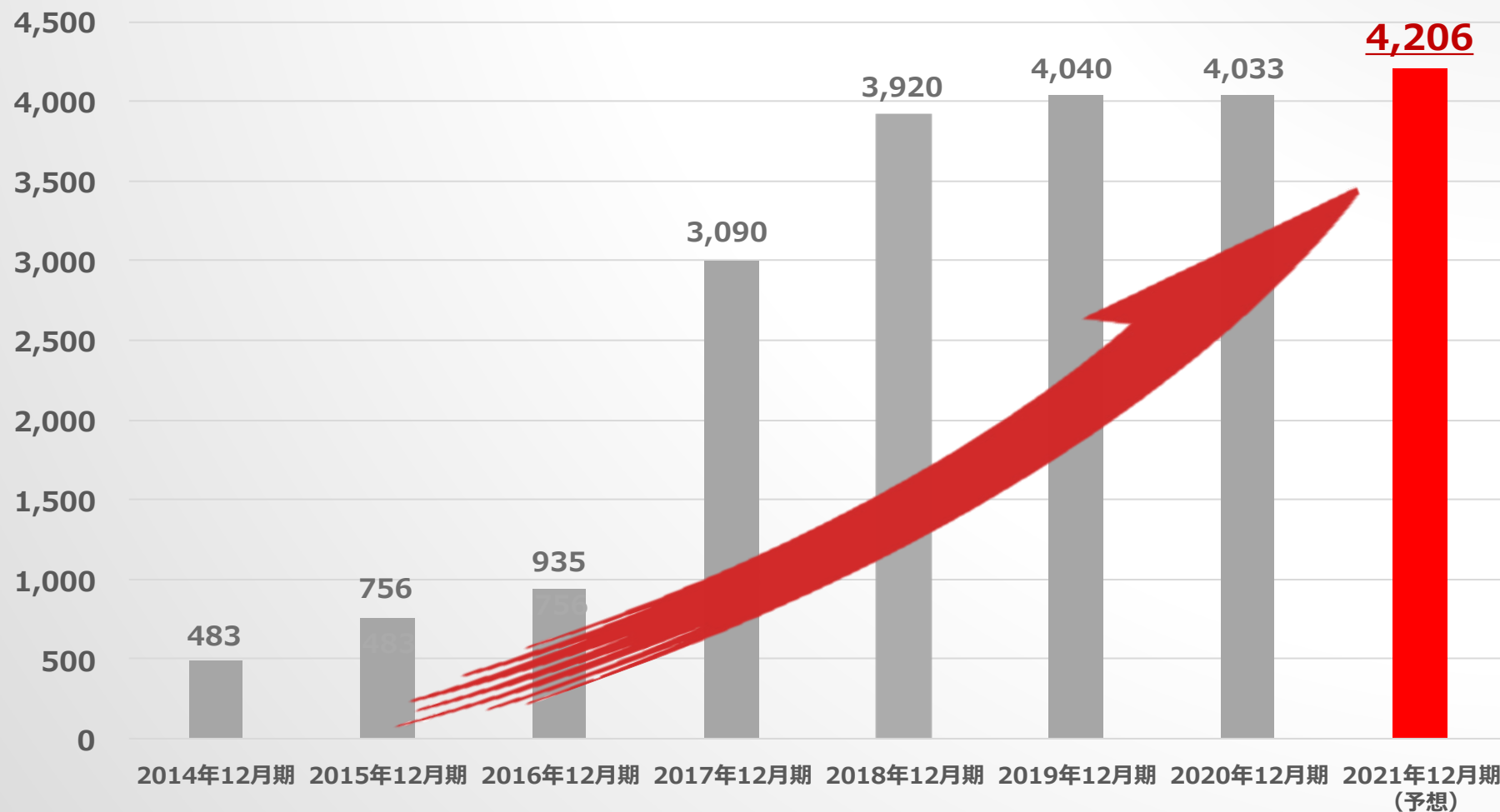


2021年12月期の業績見通し

連結営業収益（通期予想）

連結営業収益 4 2億6百万円
(前年比4.2%増)

(単位：百万円)



連結営業利益（通期予想）





参考資料（グループ概要）

フォーサイドグループ概要

会 社 名

株式会社フォーサイド (持株会社)



所 在 地

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目3番1号 E.T.S.室町ビル8階

設 立 日

2000年3月31日 (2002年10月10日 JASDAQ上場 証券コード2330)

資 本 金

100,000,000円 (2021年5月14日現在)

経 営 陣

代表取締役 根津 孝規 取締役会長 泉 信彦 常務取締役 飯田 潔
常務取締役 吉田 生喜 取 締 役 濱田卓二郎
監査等委員 法木 右近 監査等委員 田辺 一男 監査等委員 瀬山 剛

顧 問

法律顧問 TMI総合法律事務所

事 業

- ・株式等の保有を通じたグループ企業の統括及び管理等
- ・投資銀行業務

主な子会社

- ・(株)ブレイク：プライズゲーム用景品の企画・製作・販売/イベント企画・運営
- ・日本賃貸住宅保証機構(株)：賃貸家賃保証/不動産仲介売買/賃貸管理事業
- ・(株)モビぶっく：電子書籍配信事業/スマートフォンアプリ配信事業
- ・フォーサイドフィナンシャルサービス(株)：M&Aのアドバイザー業務
- ・(株)マーベラスアーク：音楽関連事業
- ・フォーサイドメディア(株)：出版事業



—免責事項について—

本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、日本円と米ドルとその他外貨との為替レートの変動、その他事業を取巻く様々なリスク及び当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社フォーサイドに属します。